

神奈川県立ビジターセンター 令和 6 年度実績報告書



令和 7 年 4 月

公益財団法人 神奈川県公園協会

目 次

令和 6 年度実績報告

1 指定管理業務実施に当たっての考え方、運営方針等	・・・ 3
2 施設の維持管理	・・・ 3
3 利用促進のための取組、利用者への対応	・・・ 5
4 事故防止等安全管理	・・・ 12
5 地域と連携した魅力ある施設づくり	・・・ 14
6 節減努力等	・・・ 15
7 人的な能力、執行体制	・・・ 15
8 財政的な能力（省略）	・・・ 16
9 コンプライアンス、社会貢献	・・・ 16
10 事故・不祥事への対応、個人情報保護	・・・ 17

【添付資料】

令和 6 年度ビジターセンター入館者集計表

令和 6 年度ビジターセンター利用者満足度調査報告書

令和 6 年度収支状況表

情報提供・問い合わせ記録

委託業務実績報告

労働環境セルフチェック表

【参考資料】

- 1 利用プログラム（秦野・西丹沢）
- 2 展示の実施内容（秦野・西丹沢）
- 3 都市公園との連携事業（秦野）
- 4 団体向けの利用プログラム（秦野）
- 5 自然・山岳情報の収集と発信（秦野・西丹沢）
- 6 その他利用者満足度向上のためのサービス（秦野）
- 7 TANZAWA Wildlife card（秦野・西丹沢）
- 8 一体運営により展開する、利用促進のための企画・取組（秦野）
- 9 地域との連携体制の構築（秦野）

令和6年度実績報告

1 指定管理業務実施に当たっての考え方、運営方針等

(1) 指定管理者としての基本的姿勢及び委託の考え方

ア 指定管理業務全般を通じての総合的な運営方針、考え方

県立ビジターセンターの設置目的を踏まえ、総合的な運営方針として「丹沢の自然と人をつなぐ架け橋 ビジターセンター」を掲げ、適切な管理運営を行った。

イ 業務の一部を委託する場合の考え方

法律などで定められた点検業務、専門技術や資格等を要する業務については外部に委託し、適正な維持管理に努めた。

※別紙業務委託実績報告書を参照。

2 施設の維持管理

(1) 施設の特性を踏まえた維持管理

■ 秦野ビジターセンター

・清掃及び保守点検業務

展示室・事務室

毎日の清掃では、アルコール消毒を1日1回実施したほか、スタッフによる年2回の事務室床のワックス掛けを実施した。

開館前・閉館後に展示室内の点検を実施。

展示物をはじめとする軽微な破損は直営で迅速に対応、本年度も、引き続き日々のアルコール消毒に伴う色落ちを防ぐため、木製展示台のワックスがけを3ヶ月に1回程度行った。

その他、展示室及び事務室の窓清掃（年1回）を実施した。

その他、登山者の落とし物対応を適宜行った(公園内はパークセンターへ引き継ぎ、山中に関しては問合せに応じ、貴重品については警察署に届け出を促した)。

・備品・取蔵物等の管理

- ・受付業務

カウンター近くに、におい展示を追加するなどハンズオン展示の充実に努めた。

登山者や公園を訪れる観光客などで利用者は前年度をわずかに上回った。休憩室利用人員は第2期指定管理期間で最も少ない人数となった。

登山や自然情報に関しては、パークレンジャーや自然公園指導員からの最新情報の共有や山小屋のSNSや電話による情報収集に加え、一般の協力者の方からの情報提供等により素早い情報提供を心掛けた。

- ・保安警備業務

職員が適宜巡視するとともに、秦野戸川公園と連携した保安警備等を実施した。

■西丹沢ビジターセンター

- ・清掃及び保守点検業務

毎日清掃及び点検を実施。

諸々の感染対策として、展示室内や登山計画書記入用テーブルに消毒液の設置を行った。

開館前・閉館後に展示室内の点検を実施し軽微な破損は直営で迅速に対応した。

電気設備、漏電ブレーカーの簡易点検や、給水ポンプの異常確認を適宜職員が実施。また、水道水消毒用塩素液補充チェックを月1回、残留塩素濃度測定を週1回実施した。

浄化槽法定点検、浄化槽保守点検、清掃業務は委託により実施した。

その他、消火器の外形確認を実施し、冬期は入口・駐車場の除雪及び融雪剤散布を行った。

- ・植栽管理

V C周囲の植栽は職員が適宜刈り込みを実施。

- ・備品・収蔵物等の管理

- ・受付業務

諸々の感染対策として、週末など混雑時などには必要に応じマスクの着用を行うとともに、おもてなしの心や全ての人に配慮した受付対応を心掛けた。また、最新情報の共有等による素早い情報提供を行った。

- ・保安警備業務

職員による巡視、閉館時の戸締り徹底等により保安警備を実施。

3 利用促進のための取組、利用者への対応

(1) 施設の利用促進のための企画、取組

ア より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等

利用促進プログラム実績一覧

【イベント】

	行事名	日程	回数	参加者数	備考
秦野	「まずはこれだけ覚えよう！初めての地図読み ～地図とコンパスとGPS～」	5/19	1回	11名	登山教室
	登山ガイドと行く「南山」	12/7	1回	6名	宮ヶ瀬エリアで実施
	「たての先生と行く！どんぐりの森」	12/22	1回	18名	企画展開連観察会
	「たての先生の言葉のない世界を語る会」	2/1	1回	37名	企画展開連トークイベント（室内）
	「冬の野鳥観察会」	2/22	1回	12名	秦野戸川公園との合同
	「みんなで登る・学ぶ・作る！」	3/1	1回	10名	秦野戸川公園、山岳スポーツセンターとの合同
	安全登山教室「丹沢登山はじめての一步」	3/15	1回	7名	山岳スポーツセンター・秦野市丹沢遭難対策協議会と共催
	屋内プログラム（丹沢トーク）	月1～2日	87回	251名	
	屋外プログラム（園内トーク）	月1～2日	156回	959名	秦野丹沢まつり、秦野戸川公園まつり、秦野市民の日を含む
	屋外プログラム（登山道トーク）	4～6月 10～12月 各1回	38回	97名	
	出張丹沢トーク	年2回	64回	235名	宮ヶ瀬エリアで実施
	計		352回	1643名	
西丹	「西沢・花めぐり滝めぐり」①	4/7	1回	2名	ミニ登山教室
	「ロープワーク教室」	4/27	1回	3名	ミニ登山教室
	「西沢・花めぐり滝めぐり」②	5/5	1回	8名	ミニ登山教室
	「春の花観察会」	5/11	1回	3名	ミニ自然教室
	「登山に役立つロープワーク①」	5/25	1回	5名	ミニ登山教室
	「西沢セラピーロードを歩こう①」	6/16	1回	7名	ミニ自然教室
	「ファミリーキッズ丹沢湖でキャック自然体験」	6/29	荒天	中止	自然体験プログラム
	「地形図教室①」	7/6	1回	3名	ミニ登山教室

	「ファミリーキーズ河原で自然体験①」	7/20	1回	12名	自然体験プログラム
	「西沢週上ツアー・大人の水遊び」	7/21	1回	8名	ミニ自然教室
	「ファミリーキーズ河原で自然体験②」	7/27	1回	9名	自然体験プログラム
	「西沢シャワークライミング」	8/3	1回	6名	VC・NPO 共催事業
	「西沢シャワークライミング」	8/12	荒天	中止	VC・NPO 共催事業
	「ファミリーキーズ河原で自然体験③」	8/24	1回	11名	自然体験プログラム
	「西沢・花めぐり滝めぐり」③	9/1	荒天	中止	ミニ自然教室
	「登山に役立つロープワーク②」	9/7	1回	7名	ミニ登山教室
	「西沢シャワークライミング」	9/7	1回	7名	VC・NPO 共催事業
	「地形図教室②」	9/14	1回	5名	ミニ登山教室
	「秋の花観察会」	10/5	1回	4名	ミニ自然教室
	「西沢・花めぐり滝めぐり」④	10/13	1回	4名	ミニ登山教室
	「海変じて山となる」	10/26	1回	3名	ミニ地学教室
	「西沢セラピーロードを歩こう②」	11/3	1回	7名	ミニ自然教室
	「地形図教室③」	11/6	応募無	中止	ミニ登山教室
	「歩いて学ぼう!丹沢 1700 万年ドラマ」	11/17	1回	9名	ミニ地学教室、山北町と共催
	「地形図教室④」	11/23	1回	3名	ミニ登山教室
	「山岳事故検証講座・その時何が起きたのか」	12/15	1回	8名	ミニ登山教室
	屋内プログラム（西丹トーク）	第3土曜	19回	49名	
	屋外プログラム（西丹トーク）	第3土曜	0回	0名	
	計		41回	183名	
合同	「岩石図鑑づくり」WEST 編	9/29	1回	4名	VC 合同連続地学教室（西丹沢VC）
	「岩石図鑑づくり」EAST 編	10/6	1回	6名	VC 合同連続地学教室（秦野VC）
	「地図読み講習会」	1/18	1回	6名	山北つぶらの公園との共催事業（秦野VC）
	「大野山ハイキング」	3/1	1回	5名	山北つぶらの公園との合同事業（西丹沢VC）
	計		4回	21名	

【企画展】

	行事名	日程	備考
秦野	「丹沢みどころ紹介～スタッフ山行の記録から～」	2/17～5/12	2023年版
	「写真で見る丹沢のカエルたち」	5/18～7/7	
	「残したい丹沢の希少な植物」	6/1～7/31	出張展示（宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館）

	「チョウのおもしろ発見！展」	7/13～9/16	
	「楽しみいろいろ！秋の丹沢」	9/21～12/8	
	「ともに生きる社会かながわ」	9/26～10/6	県共催巡回展
	たてのひろし絵本「どんぐり」原画展	12/14～2/16	
	「丹沢みどころ紹介～スタッフ山行の記録から～」	2/22～6/1	2024 年版
西丹	企画展「ヤマビルについて」	9/14～29	山北町と共催
	パネル巡回展「ともに生きる」	10/12～27	神奈川県と共催
	パネル展示「山のトイレ」	3/1～28	神奈川県と共催

【団体対応】

	内容	回数	参加者数	備考
秦野	スライドトーク	9 回	231 名	
	野外セルフガイド	0 回	0 名	
	その他レクチャー	20 回	468 名	
	講師派遣（自主事業）	1 回	60 名	
	計	29 回	699 名	
西丹	スライドトーク	3 回	32 名	
	野外セルフガイド	1 回	20 名	
	その他レクチャー	66 回	1,238 名	
	計	70 回	1,290 名	

■各VCの特性を踏まえた重要事業

自然への関心度、登山技術の度合いに見合ったプログラムを計画・実施し、丹沢の自然への理解の向上と安全登山の促進を図った。

秦野 VC

「お茶室 de スライドショー」の実施

秦野戸川公園と共催で、公園内のお茶室「おおすみ山居」にて、丹沢の自然を紹介した「山の日特別上映『写真で見る 丹沢の四季折々の自然』」の上映を前年度に引き続き行った。

西丹沢ビジターセンター

周辺に本格的な登山コースや沢登りコースが多いため、ベテラン登山者などの利用が多いが、子供や一般

利用者へ西丹沢の自然を啓発するイベント行事として「ファミリーキッズ河原で自然体験」を3回、NPOとの合同事業「西沢シャワークライミング」を2回実施した。また、カヤックによる自然体験は大雨によるダムの放流により中止となった。

■具体的な利用プログラムと展示の実施内容

○利用プログラムの実施内容 ※参考資料1 参照

館内で実施するプログラムから実際のフィールドで展開するもの、内容についても自然への興味関心に応じ、ターゲット別のプログラムを提供した。

※利用促進プログラム実績一覧参照

この他、来館者に対し随時レクチャーを実施

秦野 1,269 人/年 (539 回/年)

西丹 3,942 人/年 (1,314 回/年)

○展示の実施内容 ※参考資料2 参照

常設展示、企画展示等を通じて、丹沢の自然について 環境教育と普及啓発に努めた。

秦野 VC

「写真で見る丹沢のカエルたち」、「チョウのおもしろ発見！展」などでは、身近な生きものの生態や生息環境の紹介をとおして、丹沢の自然環境の豊かさや問題点に気づいてもらう展示を行い、『たてのひろし絵本「どんぐり」原画展』では、展示を見た人が自然へ興味を持ってもらうきっかけとする展示を行うなど、多様なニーズを意識した展示を実施した。

常設展示では、古い情報が無いよう努め、自然や登山など季節にあわせた展示や体験型展示などを制作・展示した。

西丹 VC

センターのエントランスにおける山の情報コーナー、丹沢の成り立ちなどを学習する屋内外の岩石の展示、展示室内には、四季の動植物の紹介コーナー、安全登山の意識啓発を図る遭難救助関係の情報提供コーナーを設置するとともに、大型モニターによる西丹沢の魅力ある映像を上映した。また、企画展示を9月に「ヤマビルについて」、10月に「ともに生きる」、3月に「山のトイレ」を開催した。



■その他当協会の特性を活かした取組

※利用促進プログラム実績一覧参照

- ・都市公園との連携事業 ※参考資料3 参照
- ・丹沢大山自然再生事業を伝えるプログラム
- ・団体向けの利用プログラム ※参考資料4 参照

秦野 VC

秦野戸川公園パークセンター多目的室を利用した屋内プログラム（スライドトーク）の人数制限は継続したが、秦野市遭難対策協議会の事業として、夏季を中心に保育園、福祉関係団体、運動サークルなど多様な団体に対しスライドトーク及びレクチャーを行い丹沢の自然にふれあうきっかけや自然環境保全の普及啓発を行なった。

西丹沢 VC

地域の学校等が定期的にカリキュラムの一環として来所する際に、展示説明等を行ない西丹沢の自然を普及啓発した。

この他自主事業として、秦野ビジターセンターでは講師派遣ではだの生涯学習講座講師を1件60名に実施した。

■自然・登山情報の収集と発信 ※参考資料5 参照

関係機関と連携しつつ自然公園の動植物や登山道などの情報を収集し、VC窓口だけでなく、丹沢への来訪を計画している人や遠方の人などに対してもホームページやSNSなどを通じて情報を発信した。

■その他利用者満足度向上のためのサービス ※参考資料6 参照

以下の取組を行った。

- ・「登山記録証」配布

- ・観察キットの貸出し（ルーペ、ハンディ図鑑など）（秦野VC3件）
- ・周辺散策コースガイド配布及び周辺で見られる鳥や花暦などのセルフガイドシートの配布（秦野VC）新規

イ より多くの利用を図るために行う広報・PR活動の内容等

- ・ホームページ、ブログ
- ・SNS（Facebook、X、Instagram、Youtube）
- ・「自然公園だより」（年4回発行）
- ・オリジナルVCカード「TANZAWA WILDLIFE CARD」の配布。 ※参考資料7 参照

- ・花とみどりのフォトコンテスト開催
- ・県情報サイト等の活用

- ・NHK BS「日本百名山」取材協力

ウ サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等

- ・利用者満足度調査を実施し、利用者ニーズの把握に努め、良好な回答を得た。
- ・利用者ニーズに合わせた取組改善

秦野 VC：カウンターにコミュニケーションボードを設置し、筆談に対応できるようにするなど利便性の向上に努めた。ビジターセンター以外への苦情や要望は該当する機関などに連絡したほか、市の行事にスケッチのモチーフとして剝製を貸し出すなど、新たなニーズに対応した。

西丹沢 VC：アンケートにより要望が多かった木橋の修復については、前年度に引き続き「ボランティアと連携した木橋修復事業」を自然環境保全センターの立ち合いの中で9月12日に実施した。

エ 神奈川県手話言語条例や外国人への対応等

■手話言語条例への対応

車いすの貸出を実施

■外国人への対応

- ・簡易な英語対応は職員が窓口で対応

- ・丹沢を紹介する英語版リーフレットの配架
- ・展示室地形模型や休憩室登山マップの山名や凡例等に英語表記（秦野 VC）

■その他の配慮事項

- ・高齢者に配慮し、老眼鏡やルーペ等を設置及び必要に応じて貸し出し。
- ・子どもコーナーの設置（秦野）

オ 施設の特徴をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等

VC利用者の利便性を高め、快適な野外活動を支援するため、自然と親しみたい家族やより興味を深めたい方向けに次の自主事業を計画、実施した。※4月に記入 西ビ

【自主事業収支】

①物品販売

(単位：円)

	支出	収入	収支差額
秦野VC			
西丹沢VC			
合計			

②団体対応 講師派遣

(単位：円)

	支出	収入	収支差額
秦野VC			
西丹沢VC			
合計			

③自然教室

(単位：円)

	支出	収入	収支差額
秦野VC			
西丹沢VC			
合計			

(2) 一体運営により可能となる利用促進のための企画・取組

(ア) 一体運営により展開する、利用促進のための企画・取組

- ・連続地学教室として、丹沢のビジターセンター合同企画「丹沢の岩石図鑑づくり」の開催
- ・「TANZAWA Wildlife card」配布 開始日：R5/9/3 ※参考資料7 参照

- ・秦野戸川公園、山岳スポーツセンターと連携した利用促進（秦野VC） ※参考資料3・8 参照
- ・3館合同イベント「みんなで学ぶ・作る・登る！」3/1 は参加者10名で実施した。秦野戸川公園との合同観察会「冬の野鳥観察会」2/22 は参加者12名で実施した。（秦野VC）

- ・10/20 秦野戸川公園まつりに参加、丹沢の自然紹介ブースを設置、96 件 286 人の方にご利用いただいた。
- ・山岳スポーツセンター、はだの丹沢クライミングパークと連携した利用促進としてスタンプラリーを実施（秦野VC）
- ・共通パンフレットの配架
- ・登山記録証の配布
- ・ホームページの統合管理
- ・Facebook の相互シェア
- ・X の相互フォローやリポスト

イ 利用の促進を図っていくため、指定期間中の年度の目標施設利用者数と設定の考え方

土・日曜日、祝日に天候不順の日が多く、夏季は猛暑のため外出を控えるなど、前年度同様利用者数が伸び悩む要因が見られ、秦野VCは来館者数が前年度をわずかに上回ったものの前年度を下回る目標比となった。西丹沢VCでは、コロナウイルスの蔓延状況が緩み登山客の動きが活発となり、昨年度より利用者数は増加し、目標値を上回った。両VCを合わせた目標比は101.6%であった。

来館者数

		R2	R3	R4	R5	R6
秦野VC	目標	124,600	125,100	125,600	126,100	126,600
	実績	83,789	97,027	120,003	110,635	110,689
	目標比	67.2%	77.6%	95.5%	87.7%	87.4%
西丹沢VC	目標	101,450	101,700	101,950	102,200	102,450
	実績	83,456	95,438	107,267	114,432	122,076
	目標比	82.3%	93.8%	105.2%	112.0%	119.2%

4 事故防止等安全管理

（1）事故防止等安全管理

（ア）指定管理業務を行う際の事故防止等の取組内容

■山岳事故防止に貢献する取組

- ・職員による情報収集を月2回を目標に実施し、登山道の状況や凍結・積雪など登山時に注意を要する情報を収集したほか、
などを窓口や館内掲示、ホームページやSNS等で発信した。
- ・登山計画書提出の呼びかけをバス停、駐車場等で行った。
秦野ビジターセンター 27日 2151件 10,618人
西丹沢ビジターセンター 306日 2,652件 17,252名

- ・登山道、受付カウンター、電話での問合せ時等に登山に関するアドバイスを実施。

■VC内及び主催する野外プログラムにおける事故防止対策

- ・下見、危険箇所等の把握、参加者へ必要事項の事前伝達、携帯電話、救急キット、雷感知器の携行等を実施した。
- ・施設内における事故防止対策として、危険箇所のH壇からの点検、展示物の落下防止固定、クッション材取付け、避難経路の確保を実施したほか、西丹沢VCではベレットストープの安全確保を実施。

■職員の職務執行上の事故防止対策

- ・共通的な事故防止対策として、「事故・不祥事防止会議」で報告された事例を紹介し、リスクの把握とその対応策を検討し、日常の業務に活かした。

■災害時の対応と事業継続策

- ・非常食を自主財源で配備。
- ・衛星電話などを活用した関係機関との連絡手段の複層化を実施。
- ・当協会としての事業継続計画書（BCP）を策定。

- ・西丹沢VCでは災害時用に非常食、カセットコンロ、毛布、電池などを配備し発災に備えた。

イ 事故不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針

■事故防止に向けたマニュアル、職員の配置及び研修

- ・「情報収集における安全対策について」に従い、利用者及び職員の安全確保に努めた。
- ・上級救命講習や日本赤十字社救急養成講習を受講した職員が常に1人以上勤務した。
- ・「事故・不祥事防止会議」において、施設間での安全意識の統一と向上を図った。

■事故・不祥事等が発生した場合の対応

- ・遭難等の山岳事故が発生した場合には、警察への通報を行い、前線基地として救助への協力を行った。

ウ 急病人等が発生した場合の対応

上級救命講習受講者の配置、AED配置により急病人等の発生に備えた。

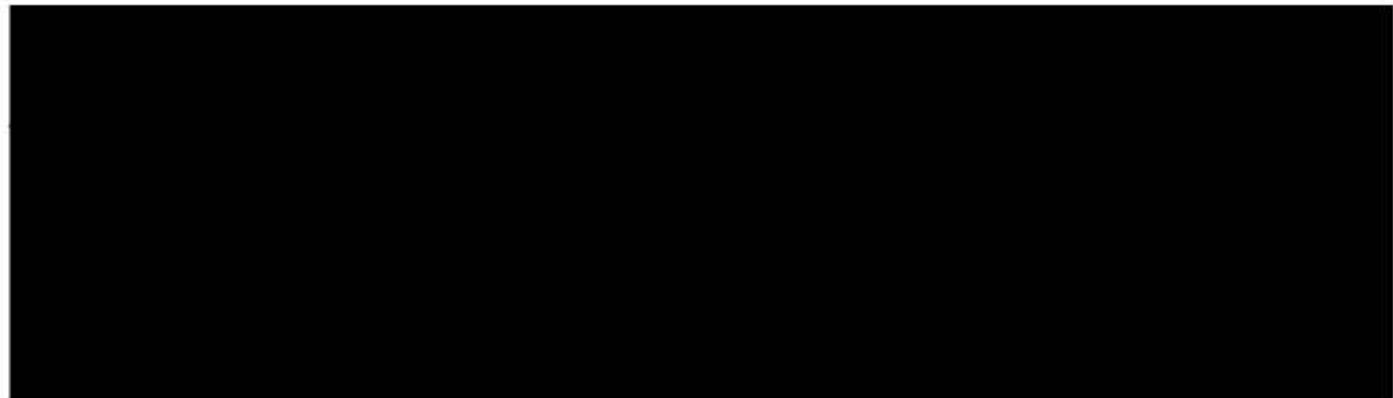
	秦野 VC	西丹沢 VC
救命講習 受講者		

5. 地域と連携した魅力ある施設づくり

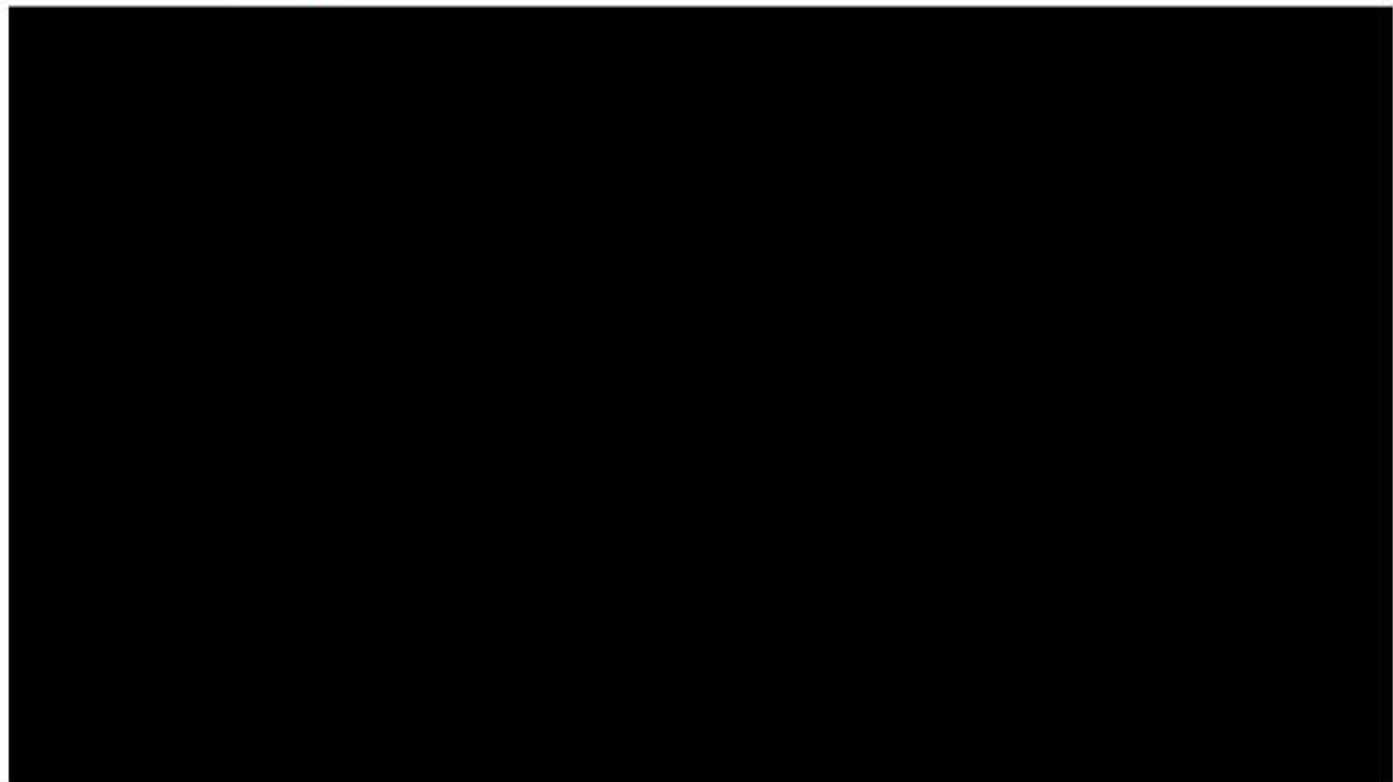
(1) 地域と連携した魅力ある施設づくり

ア 地域人材の活用、地域との協力体制の構築及びボランティア団体等の育成・連携の取組内容

■地域人材の活用



■地域との連携体制の構築



西丹沢 VC



■ボランティア団体等の育成、連携

■大学等と連携した自然環境調査への協力

秦野 VC

西丹沢 VC

■自然再生などの仕組み・活動への連携

丹沢大山自然再生の一端を担う施設として、取組をテーマとした展示を行った。

イ 地元企業等への業務委託による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容

業務委託を行う場合には、原則県内企業への発注を優先的に行った。

6 節減努力等

適切な執行に努めた。

7 人的な能力、執行体制

(1) 人的な能力、執行体制

ア 指定期間を通じて2施設を一体的かつ効果的・効率的に指定管理業務を行うための人員配置等の状況

イ 業務の一部を委託する場合の管理・指導体制

業務の進捗に沿って適切に指導監督を行った。

ウ 指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用

安定して指定管理業務を行うため、計画的な職員採用を行ったほか、知識・技術の向上のため必要な研修を受講した。

8 財政的な能力

9 コンプライアンス、社会貢献

- (1) 指定管理業務を実施するために必要な団体の企業倫理・諸規定の整備、施設整備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況

公益財団法人として社会的信頼の維持及び業務の公正性の確保に資するため、法令及び諸規定の遵守を徹底し、事業実施に取り組んだ。

- (2) 指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況

- (3) 法定雇用率の達成状況等、障がい者雇用促進の考え方と実績

法定雇用率の達成に加え、

- (4) 障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえた取組みについての考え方

障害者差別解消法に基づく合理的配慮や職員への教育により、「ともに生きる社会かながわ」の実現に努めた。

- ・県との共催でパネル展示を実施（9/26～10/6 秦野V C、10/12～27 西丹沢V C）

- (5) 神奈川県手話言語条例への対応

聴

覚障がい者の方の利用環境の向上に努めたほか、未受講職員へ受講を促し、受講につなげた。

- (6) 社会貢献活動等、CSR の考え方と実績

施設の特性を活かした学校教育、行政の取組等への協力を行った。

- ・11/23 味の素A G Fが行う登山者カード呼びかけ時のキャンペーン活動に協力(秦野V C)

※参考資料9 参照

- (7) SDGs（持続可能な開発目標）への取組

当協会では、「(公財)神奈川県公園協会 SDGs 宣言」に基づき、生物多様性の保全や地球環境に配慮した公園管理等に取り組み、ビクターセンターにおいても同様の取組を行った。

10 事故・不祥事への対応、個人情報保護

(1) 事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況

事故等があった場合に備え、体制を構築した。

(2) 個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況

個人情報保護のための方針や『(公財) 神奈川県公園協会個人情報保護規程』により、個人情報の保護を徹底した。